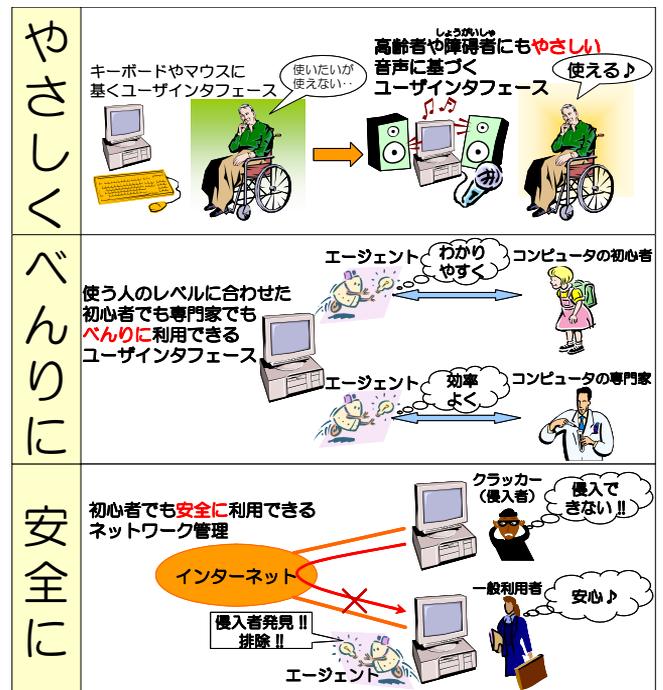


研究スタッフ

教授：鈴木 陽一(兼) 教授：外山 芳人(兼)
 教授：木下 哲男(兼) 准教授：北形 元
 助教：矢入 聡

研究目的

現在のコンピュータに代表される情報システムは、前もって決められた使い方
 で固定的な処理や機能のみを提供する
 “**かたい情報システム**”である。本研究
 の目的はこれまでの“かたい情報システム”
 を超え、人間の意図や環境に柔軟に
 適応した情報処理を行う “**やわらかい
 情報システム**”の構成論を確立し、全ての
 利用者が「**やさしく・べんりに・安全
 に**」利用する事が出来る情報処理環境を
 実現することである。

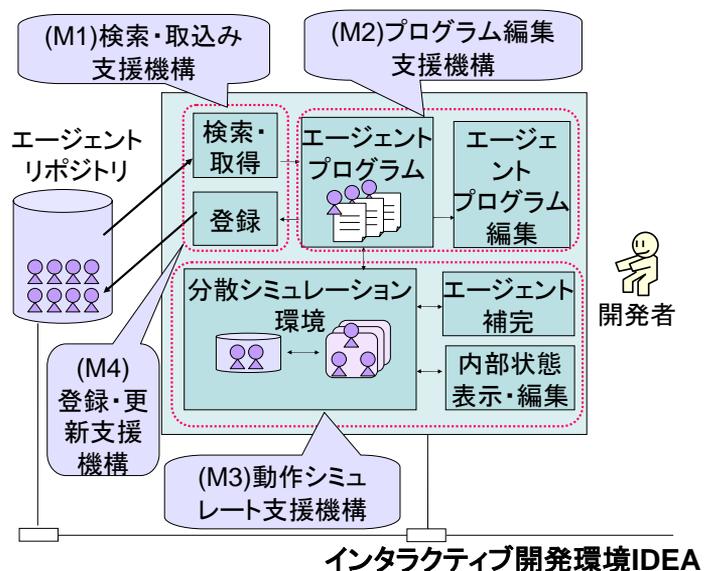


主な研究テーマ

1. エージェントシステムの開発方法論とその支援環境

近年、自律性や社会性を備えたエー
 ジェントシステムの実現に関わる研究開
 発が進められているが、状況依存的・非
 決定的に振舞うエージェントシステムを
 系統的に開発するための方法論や、それ
 に基づく開発環境などは十分に整備され
 ていない。

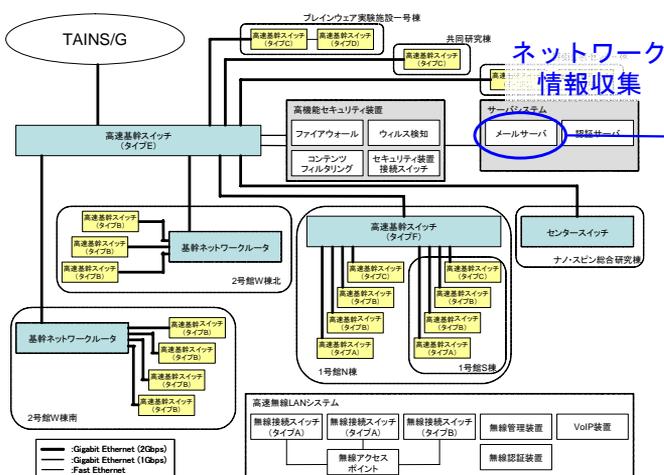
本研究では、システムと開発者の相互
 補完的な協調、及び、既存資産のエー
 ジェントシステムの効果的な再利用を促
 進するための開発方法論及び、それに基づ
 づく開発環境を提案し、**エージェントシ
 ステム開発の効果的な支援**を目指す。



インタラクティブ開発環境IDEA

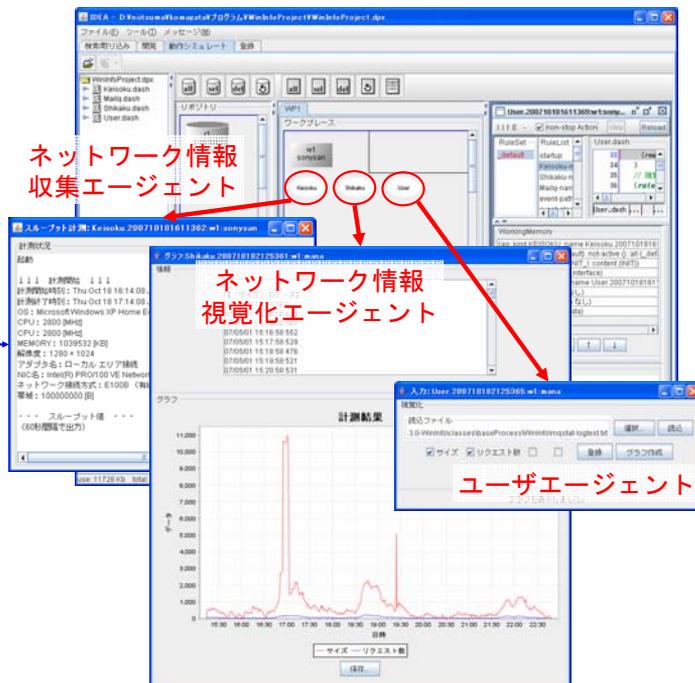
2. 安全・安心を実現する知的なネットワーク管理支援システム

ネットワーク管理者は、障害発生時にその原因を特定し解消するために「情報収集整理・対策方法の選定・対策の実行」という作業を行わなければならない。安全・安心な情報ネットワークを実現するためには、これらの作業をできるかぎり迅速かつ正確に行うことが期待される。しかしながら、近年のグローバル化されたネットワークでは、これらの作業には多大な経験と労力が必要であり、ネットワーク管理業務において重大な問題点になっている。



グローバルネットワーク実験システム

本研究では、この問題を解決するために、管理業務に必要な情報や知識を能動的に活動させ連携・協調させることにより、**管理者にかかる作業労力の負荷を軽減**し迅速かつ正確な障害への対処を可能とする、エージェント型のネットワーク管理支援システムを開発している。



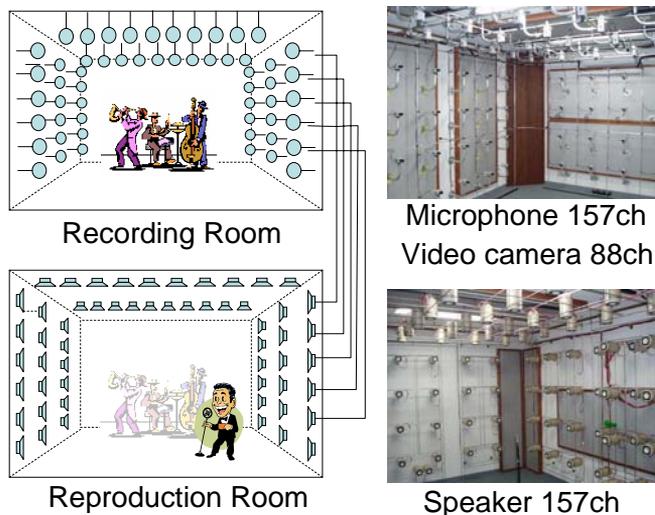
エージェント型ネットワーク管理支援システム

3. Fir³ : 場の記録、認識、再現に関する研究

Fir³ (Field Recording, Recognition, Reproduction) プロジェクトでは、ある空間の事象をまるごと記録、認識し、別の場所でそっくりそのまま再現することを目指している。

このシステムにより、実際の環境を時空間を越えて、別の場所で**あたかもその場所にいるかのような現実感**を与えることができる。

具体的には、図のような実験施設を用いて、ある空間の音空間情報を別の空間で再現するシステムを検討している。



時空間を越えた音空間の再現